

# 第47回(2024年度)全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会【戦評】

会場：千葉県国際総合水泳場

【2025/3/30】

## この試合のプレー集計

**A3位**

千葉水球クラブ

7

2	-	0
2	-	0
2	-	1
1	-	1

2

富山スイミング

PSO

塚本 龍一

審判:

佐賀 泰

千葉水球クラブ	14	SH数	19	富山スイミング
	2	速攻数	1	
	5	ST・SB	5	
	4	SH・P誘発アシスト	2	
	85%	GK阻止率	22%	
	7	EX反則数	6	

ST・SB:ボール奪取・SH阻止

## 【試合の流れ】

予選リーグ戦の5試合中4試合がPSO戦という際どい試合を勝ち上がってきた富山と、前年チャンピオンの千葉水球との3位決定戦。安定した守備力が自慢の千葉水球に対し、富山の粘りの水球がどこまで通用するか。富山はディフェンス時のエクスクルージョンがやや多いので、最後の試合でそれが改善できるか。

<1P>

序盤は一進一退の攻防が続いたが、ペース的には千葉が優勢に試合を進めていた。富山のシュートを千葉GK①澤地がセーブし、そこを起点に②高野がセンターSHを決めて千葉が先制。その後も、またしても富山の退水シュートを千葉GK①澤地がセーブし、⑦宮越が退水を誘発して④和田が2点目を決めて第1ピリオド終了(千葉2-0富山)。富山は前線までボールが回らず、7m付近からの外周シュートという状況。逆に千葉の攻撃はボールが入ることは少ないものの、センターの位置取りで完全に優位に立っている状況。

<2P>

このピリオドもほとんど似たような展開で、富山は遠目の外周シュートからの失点というパターン。千葉は富山のシュートをGK①澤地が止め、そこから前線へロングパス。前線の選手たちが動きやすい状況を作り出していた。しかし、なかなか得点には至らず、イライラ感も募ったが、ピリオド終盤に②高野の速攻と④和田のセンターSHで2点を追加して前半を折り返した(千葉4-0富山)。

<3P>

このピリオドも富山の外周シュート→千葉GKセーブ→前線フィードでチャンスを作り出すという流れ。②高野がペナルティ誘発で自身で加点して、千葉5-0富山。何とか突破した富山はピリオド終盤に③条谷が相手ボールを奪ってからの逆襲。そこでペナルティを誘発して、②川邑がようやく1点を返した。しかし直後の千葉の攻撃では、逆に千葉がペナルティ誘発。再び5点差として第3ピリオド終了(千葉6-1富山)。

<4P>

富山にチャンスがないわけではなく、例えば3:09に富山が退水を誘発し、退水セットを組んでパス回し。しかしそこでシュートを打とうという気概がないパス回しで時間をロスし、結局、退水時間を使い果たしてのオーバータイム。そこを千葉に突かれて富山が退水。千葉に退水シュートを決められて、千葉7-1富山。その直後、富山はベンチが「喝」を入れるタイムアウトを取り、そこで②川邑が6mSHを決めて1点を返すのが精一杯。結局、千葉7-2富山で千葉が第3位、富山は第4位で大会を終えた。